

月刊 永藤タイムズ

大阪府議会9月定例会 ～府民文化常任委員会での質疑～

速報Ⅱ



大阪府議会議員
永藤英機です。

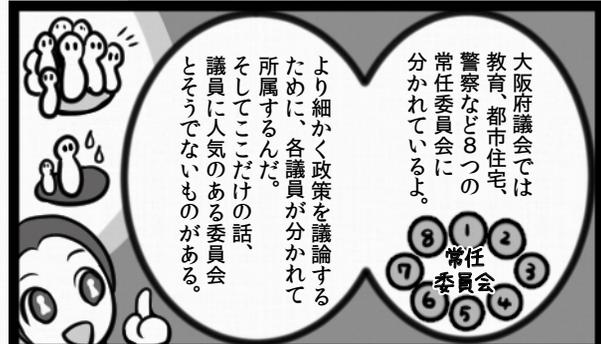
現 在、大阪府議会9月定例会が開会中です。堺区選出の府議会議員・永藤英機は10月16日の府民文化常任委員会にて質問に立ちました。その内容は7つの項目に及び、60分の持ち時間をフルに使う議論が行われました。その全てをお伝えしたいところですが、紙面の都合上、今回は3項目に絞ってお伝えします。

●百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録
永藤 世界遺産登録を目指して来年3度目の挑戦をする百舌鳥・古市古墳群。しかし今議会での各議員とのやり取りを聞いてみると、まるで国内推薦を勝ち取ることが最終目的のように感じた。国内推薦を獲得したからと言って世界遺産に登録されるわけではない。イコモスの現地調査を経て平成30

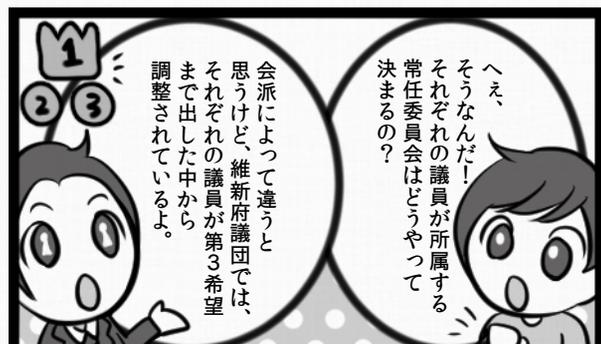


常任委員会

先月号は代表質問、今月号は常任委員会の話題だね。
ところで今さらかもしれないけど、常任委員会って一体どんなの？



大阪府議会では教育、都市住宅、警察など8つの常任委員会に分かれているよ。
より細かく政策を議論するために、各議員が分かれて所属するんだ。そしてこのだけの話、議員に人気のある委員会とそうでないものがある。



へえ、そうなんだ！それぞれの議員が所属する常任委員会はどのように決まるの？
会派によって違うと思うけど、維新府議団では、それぞれの議員が第3希望まで出した中から調整されているよ。



常任委員会では所属以外の政策は、議論できないの？
基本的には、そうだな。だからどの委員会を選ぶかが重要なんだ。どうしても、という時はその委員会に所属している議員に頼むこともあるよ。

年のユネスコ世界遺産委員会での審議の末に可否が決まる。国内推薦後の世界遺産登録に向けての行動まで考えられているのか。
答弁 大阪府民文化部長
今は確かに国内推薦に目が行きがちになっている。その後のことを見据えて取り組まなければいけないとあらためて思う。現地調査への対策については専門家を招いて意見を聞くなど対応を進めているが、世界遺産登録に向けてはまだまだ茨の道の中、手綱を締めなおして実現できるように取り組んでいく。

●友好交流都市との連携
永藤 大阪府は現在9か国10都市と友好交流提携を結んでいるが、より多角的な視野で連携を行うべきと考える。それが企業の海外ビ

ジネス展開や、大阪の将来を担う子供たちの活躍の舞台を広げることも繋がる。今の時代はインターネット技術も進んでいて、遠方の地域とより安価に質の高い交流ができる。年に一度行き来するだけの関係では物足りない。インターネットを用い交流を密に行うことでお互いにとってより意味のある連携ができるはず。観光分野でも、昨今急増しているアジア地域に加えて、欧米・オーストラリアなどから観光客を呼び込むためのプロモーション手段としても提携は効果的と考える。友好交流都市との今後の多角的な連携についてどのように考えるか。
国際課長 友好提携先のなかには、双方の関心分野の違いや、費用負担のあり方など様々な背景から、現時

点では教育などの特定の分野に重点化した事業展開を行っている例があるのも事実。漫然とこれまでの事業を踏襲するのではなく、将来の大阪の利益を見据え、最大限、友好提携先との関係を活用していきたい。
永藤 友好提携の目的は各都市によって異なるが、本来の趣旨を踏まえ、果たしてその活動ができていないのか検証するべきと思う。また、時代に適していないものについてはこの機会に見直し、双方にとってよりよい友好関係に繋がるようにしてほしい。



●ピース大阪(大阪国際平和センター)と
戦災の追悼施設

永藤 今回リニューアルしたピース大阪に展示されている、大阪府下の戦災跡地の地図は戦争の悲惨さを知る意味でも貴重なもの。一方で、今も戦災で亡くなった方に祈りを捧げ続けている場所がある。私の地元・堺区では堺大空襲で亡くなった無縁仏を祀る「戦災無縁地蔵尊」という施設があり、ここでは地域の方々が自発的にお供えや花を生けるなど日々の運営を行い、堺大空襲が発生した7月10日にちなみ毎月欠かさずことなくお経をあげ供養を行っている。戦災を過去だけの話ではなく、現在にも繋がっているものとして感じてもらうように、このような追悼施設をピース大阪で紹介してはどうかと考えるがどうか。

人権企画課長 お示しのような施設やそこで追悼の活動も、「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」を標榜するピースおおさかにとり、次世代に語り継いでいく大事なものと認識している。先の大戦での空襲等による一般戦災死没者を追悼する施設や追悼式を都道府県別に紹介している総務省のホームページにリンクしたり、府内各地で行われている追悼行事の主権者との関係を深めていく中でこれらの行事を財団ホームページで紹介するといったことが当面可能なこととして考えられる。どのようなものを対象に、どのような方法で紹介することができるか、財団・大阪市とともに検討したい。



● **出前府政報告会、行います!** ●



3名様以上お集まりの場合にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

毎月発行しています!

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索



コラム「大阪W選挙と若者の投票率」

11月22日、大阪府知事選挙と大阪市長選挙(大阪市内)が行われました。5月の住民投票後の「大阪の方向性」を決める、とても重要な選挙です。私が大阪府議会議員として活動するようになって早くも5年目に入りました。議員になる前からずっと頭を悩ませているのは、「若い人たちの投票率が低い」ことです。先の住民投票では全体の投票率は66.8%、そのうち70~74歳が80.5%であるのに対して20~24歳の投票率は43.1%と半分ほど。70歳以上の方の反対が多く、若い世代の賛成が多かったために「シルバーデモクラシー」などと言われました。しかし私は、自分のことを中心に考えるのは当然だと思います。問題は、若い世代が自分たちの将来に直結する内容にも関わらずそれを認識せず、投票に行かないことです。これは今までの教育にも大きな問題があったように考えています。来年夏の参議院選挙からは選挙権が18歳以上に引き下げられ、これに伴い今後は大阪府内の高校でも「主権者教育」が進められることとなります。若い世代が自分たちの将来を見据え、選挙に行くようになるために、私も引き続き力を入れて取り組んでいきます。

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ(39歳)。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。(堺市堺区選出)大阪維新の会大阪府議団・副政調会長



■府政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、ご感想をお寄せ下さい!

